

学校だより No.8

平成22年12月17日  
旭川市立明星中学校

# 知と和と粘り



〒070-0025 旭川市東5条1丁目 Tel 0166-26-0468 E-mail: myojyo@myojyo.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp

## 「豊かな心を育む」

学校では、「知・徳・体」の調和のとれた育成を目指しています。言い換えると「確かな学力」、「豊かな心」、「たくましく生きるための健康・体力」の育成です。本校の校訓「知と和と粘り」にも通じるものがあります。

さて、11月から12月にかけて行われた「豊かな心を育む」取組を紹介します。「知」や「体」のようにどれだけ身に付いたか分かりにくいところがありますが、だからといっておろそかにできない大切な部分です。「心は見えないけれど、行動となって表れる」と言います。この度の取組が明星中学生の今後の行動に生かされることを期待しています。

### ～ユニセフ講話, Hand in Hand 募金活動～



本校の特色ある取組となっている、ユニセフ講話とハンド・イン・ハンド募金活動です。ユニセフ講話は、11月29日（月）、講師に日本ユニセフ北海道支部の重原祐治様をお招きし行いました。講話の中では、完全に撤去するには1,000年かかるという地雷の問題や銃を持たされ内戦に駆り出される少年兵の話などが紹介されました。

一方、募金活動は、12月4日（土）、買物公園で行う予定でしたが、折りしも発達した低気圧の影響で強い風雨に見舞われ中止となり、生徒会本部役員が行った校内募金活動で集まった20,873円を寄附する形となりました。買物公園での募金活動が中止になったのは残念でしたが、この取組を通して、金額の多寡では計れない大切なことを学ぶことができたと思います。



地雷（レプリカ）1個300円！



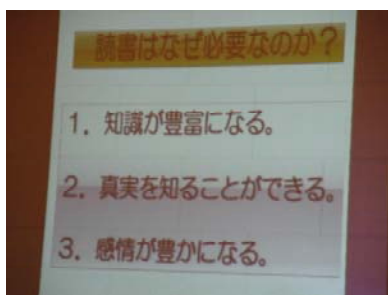
登校時、募金を呼びかけ（生徒会本部役員の皆さん）



# ～読書集会～

これも本校の特色ある取組となっています。図書委員会が企画・運営し、全校生徒で読書の意義について考える集会です。

読書は、知識を豊富にするとともに心を豊かにしてくれます。本校では毎朝10分間程度の朝読書を行っていますが、この集会は、改めて読書のよさ、素晴らしさを確認する機会となっています。集会は、読書が幸運を招くことを描いた「再現ドラマ」(寸劇)に始まり、図書の貸し出し状況や人気図書ランキングの発表、推薦図書の紹介、学級対抗図書クイズと続き、大変盛り上がりました。図書委員の皆さんには、忙しい中楽しい集会を企画し、心温まる時間を作ってくれたことに感謝します。



読書はなぜ必要なのか？



「キャサリン」と「水嶋ヒロ」  
(「再現ドラマ」より)



ベストリーダー賞の表彰  
(一番本を借りた人、112冊)

## 図書委員の皆さんが考えたクイズです。

Q：図書室のイスは全部でいくつでしょうか？ ① 46こ ② 48こ ③ 50こ

Q：2010年上半期に第143回芥川賞を受賞した作品は次のうちどれでしょうか？

- ① 『乙女の告白』赤染晶子
- ② 『ハルツームにわたしはいない』芝崎友香
- ③ 『うちに帰ろう』広小路尚祈

Q：漫画『ドラえもん』で登場するのび太のママの名前は玉子ですが、旧姓は何でしょうか？ ① 山下 ② 片岡 ③ 高橋

Q：漫画『サザエさん』の主人公フグ田サザエの結婚前の職業は記者ですが、勤めていた会社の名前は次のうちどれでしょうか？

- ① モーニング社
- ② ハロー社
- ③ イーブニング社

(いくつかお分かりでしょうか。どれも難問です。答えはお子様を確認してください。)

## 北海道の冬を有意義に…

本格的な冬です。いかに冬を過ごすか、北国に住む者にとって大きな問題です。特に成長期にある子どもにとって冬の自然に触れることは大切なことです。本校は、冬休み明け1・2年生のスキー教室(1月21日予定)があります。その準備も兼ね、冬休みにスキーに出かけてみてはどうでしょうか。北国ならではのスポーツに親しみ、身体を鍛えることによって有意義な冬を過ごせるのではないかと思います。



新雪を颯爽と滑る姿に憧れて…



高柳校長によるスキー講義  
(1・2年の学年体育において)